

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|---------|-----------------------------|
| 化学品の名称 | 日曹フラスター液剤 |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 |
| 担当部門 | 農業化学品事業部普及部 |
| 電話番号 | 03-4212-9655 |
| FAX番号 | 03-4212-9676 |
| 緊急連絡先情報 | 農業化学品事業部普及部 |
| 電話番号 | 03-4212-9655 |
| 夜間緊急連絡先 | 高岡工場RC推進部/警備室(夜間・休日) |
| 電話番号 | 0766-26-0255 |
| SDS作成日 | 1994年10月22日 |
| 改訂日 | 2024年03月29日(08版) |
| 推奨用途 | 農薬 |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外への使用は禁止する |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-------|------------------|------|
| 健康有害性 | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分2B |
| 環境有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 区分3 |
| | 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分3 |

ラベル要素

| | |
|---------------|---|
| 絵表示(GHS JP) | : 該当なし |
| 注意喚起語(GHS JP) | : 警告 |
| 危険有害性(GHS JP) | : 眼刺激 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害 |
| 注意書き(GHS JP) | |
| 安全対策 | : 取扱い後は手、顔をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 |
| 応急措置 | : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。 |
| 廃棄 | : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

| 化学名 | 濃度 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|-----------|--------|----------|----------|------------|------------|
| | | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| メピコートクロリド | 44.0 | C7H16ClN | 適用外(農薬) | 8-(1)-2331 | 24307-26-4 |

《その他》

CAS No. 企業秘密のため記載せず。
含有量 残分
化審法 適用外又は既存化学物質
安衛法 適用外又は既存化学物質

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：霧状の水
粉末消火剤
泡消火剤
炭酸ガス消火剤
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 火災危険性：加熱により毒性・有害性ガスを発生する。
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

管理番号：N3-4832101

消火を行う者の保護：加熱により毒性・有害性ガスを発生する可能性があるため、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
風上から近づく。
十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項：排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法：ウェス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。
漏出物が河川・用水路に流れないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
接触回避：「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

安全な保管条件：日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
酸化性物質や有機過酸化物など同一の場所で保管しない。
施錠して保管すること。
安全な容器包装材料：情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。

管理番号：N3-4832101

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 呼吸用保護具 | ： 有機ガス用防毒マスク |
| 手の保護具 | ： ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋 |
| 眼の保護具 | ： ゴーグル |
| 皮膚及び身体の保護具 | ： 材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------------|------------------------|
| 物理状態 | ： 液体 |
| 色 | ： 淡黄色 |
| 臭い | ： データなし |
| pH | ： 6 - 9 (20%水 20°C) |
| 融点 | ： データなし |
| 凝固点 | ： データなし |
| 沸点 | ： データなし |
| 引火点 | ： データなし |
| 自然発火点 | ： データなし |
| 分解温度 | ： データなし |
| 可燃性 | ： データなし |
| 蒸気圧 | ： データなし |
| 相対密度 | ： 比重：1.0 - 1.1(20/4°C) |
| 密度 | ： データなし |
| 相対ガス密度 | ： データなし |
| 溶解度 | ： データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | ： データなし |
| 爆発限界 (vol %) | ： データなし |
| 動粘性率 | ： データなし |
| 粒子特性 | ： データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---|
| 反応性 | ： 情報なし。 |
| 化学的安定性 | ： 通常の手扱い条件下では安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | ： 情報なし。 |
| 避けるべき条件 | ： 直射日光。熱。高温。 |
| 混触危険物質 | ： 酸化性物質。有機過酸化物質。 |
| 危険有害な分解生成物 | ： 加熱によって次のものを生成する。一酸化炭素。二酸化炭素。窒素酸化物(NOx)。 |

11. 有害性情報

| | |
|-----------|------------|
| 急性毒性 (経口) | ： 区分に該当しない |
| 急性毒性 (経皮) | ： 区分に該当しない |

管理番号：N3-4832101

急性毒性（吸入）： 区分に該当しない(分類対象外)（気体）
区分に該当しない(分類対象外)（蒸気）
分類できない（粉じん、ミスト）

| 日曹フラスター液剤 | |
|---------------|-------------------------------|
| LD50 経口 ラット | 3200 µl/kg (♂) 3180 µl/kg (♀) |
| LD50 経皮 ラット | > 5000 µl/kg (♂, ♀) |
| LC50 吸入 - ラット | > 3.9 mg/l/4h (♂, ♀) |

皮膚腐食性/皮膚刺激性： 区分に該当しない
弱い刺激性（ウサギ）

| 日曹フラスター液剤 | |
|-----------|-------------------|
| pH | 6 - 9 (20%水 20°C) |

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 眼刺激
弱い刺激性（ウサギ）

| 日曹フラスター液剤 | |
|-----------|-------------------|
| pH | 6 - 9 (20%水 20°C) |

呼吸器感作性： 分類できない
皮膚感作性： 分類できない
生殖細胞変異原性： 分類できない
発がん性： 分類できない
生殖毒性： 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 分類できない
誤えん有害性： 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）： 水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性）： 長期継続的影響によって水生生物に有害

残留性・分解性

| 日曹フラスター液剤 | |
|-----------|-------|
| 残留性・分解性 | データなし |

生体蓄積性

| 日曹フラスター液剤 | |
|-----------|-------|
| 生体蓄積性 | データなし |

土壌中の移動性

| 日曹フラスター液剤 | |
|-----------|-------|
| 土壌中の移動性 | データなし |

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性：分類できない
オゾン層への影響：モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
その他の有害な影響：追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 環境影響情報：内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装：容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 海上規制情報：非危険物
航空規制情報：非危険物
国連番号：なし
正式輸送品名：なし
海洋汚染物質：非該当

国内規制

- 海上規制情報：非危険物
航空規制情報：非危険物

特別な輸送上の注意

- 荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

その他の情報

- ： 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法：非該当
毒物及び劇物取締法：非該当
消防法：非該当
海洋汚染防止法：有害でない物質（施行令別表第1の2）
水

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 非該当

農薬取締法 : 該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒110番 365日24時間対応

一般市民専用電話（情報料無料）

（大阪） 072-727-2499 （つくば） 029-852-9999

医療機関専用有料電話（1件2000円）

（大阪） 072-726-9923 （つくば） 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料1件につき2,000円を徴収します。